

環境に配慮した稲作で赤とんぼが舞う里に 「赤とんぼ米」の作柄を市長に報告



米生産者とJAあいち豊田は12月14日(水)、生物にやさしい環境条件を整えながら栽培する特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」の今年の作柄と出荷状況を報告するため、豊田市の太田稔彦市長を表敬訪問します。

「赤とんぼ米」は農薬の使用成分や化学肥料由来の窒素成分を愛知県の慣行基準より5割以下に削減して栽培します。近年減少した赤とんぼ(アキアカネ)を復活させ、赤トンボの舞う美しい景観を守るための取り組みです。

豊田・みよし環境保全型農業推進協議会(豊田市、みよし市、JAあいち豊田で構成。オブザーバー:愛知県)では「生き物を育む農業」をめざしており、この考えに賛同した農家が「赤とんぼ米栽培グループ」を2016年3月に設立しました。

「赤とんぼ米栽培グループ」は地域農業を応援する消費者のグループ“赤とんぼ友の会”の会員と連携した活動を行っており、「赤とんぼ米」の田植えや、田んぼでの生き物観察、稲刈りなどの農業体験を行います。“赤とんぼ友の会”には現在103人が加入しており、現在もこの取り組みに賛同してくれる会員を募集中です。

2022年産「赤とんぼ米」は、10月7日より玄米1キロ480円(税込)で、JAグリーンセンターや産直プラザで販売しています。

今年度の「赤とんぼ米」は21戸で14.4haで栽培し、48トンの出荷を見込んでいます。今年度も例年通り高品質の赤とんぼ米が収穫できています。



▲生産者とJA役員が市長を表敬します

取材日時

日時:令和4年12月14日(水) 14時00分～

場所:豊田市役所 南庁舎5階 市長室

訪問者:赤とんぼ米栽培グループ 会長 伊藤政和、副会長 伊藤喜代司

JAあいち豊田 代表理事組合長 石川尚人、代表理事専務 中根金良

※取材を希望される場合は、あらかじめ下記までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先:

JAあいち豊田 営農生活部 営農指導課 担当:深津

〒471-8511 豊田市西町4丁目5番地 電話(0565)31-2460

または、広報課 電話(0565)31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

